

少子高齢化による様々な地域課題に全国に先駆けて直面する高知県。
近い将来、全国どこにでも訪れるであろう課題を目の前にし、
それに向き合う地域の人々と出会い、ともに解決策を考える一。

地域に飛び込み、地域から学ぶ。

開学以来、常にこの矜持を胸に走ってきた私たちだからこそできる
学びがここにあります。

学部の専門性を活かしながら、
地域課題に立ち向かう力を学生に一。

高知で学ぶ理由が ここにある一。

「生きた学び」

文化学部

看護学部

高知県立大学

社会福祉学部

健康栄養学部



大学と地域が キャンパス

高知県立大学では大学と地域をキャンパスとし、専門の知識や技術を身につけ、地域の現状をよく理解することで、他者と協働して地域課題の解決に取り組むことのできる人材の育成を目指しています。

地域の中で学ぶカリキュラム (全学必修科目)

地域学概論

地域学実習Ⅰの事前学習として地域課題を学ぶ意義や具体的な地域課題、地域活性化の取り組みの事例などを学習します。

地域学実習Ⅰ

課題解決に向けての考え方や取り組みを、現地で体験し学びます。

※文化学部文化学科[文化総合系(夜間主コース)]は「地域学概論」のみ必修



授業以外にも地域で取り組める課外活動

地域の課題解決に主体的に取り組む学生を大学が支援する立志社中プロジェクトや、教員・地域と連携して課題解決に取り組むリ・デザイン プロジェクトなどの取り組みがたくさんあります。



「立志社中」
(「県民大学」学生プロジェクト)



「土曜の永国寺カフェ」
(リ・デザイン プロジェクト)



「県大 × 集落活動センター」
(高知県立大学学生による集落活動センター活性化支援事業)

地域活動の中での
気づき・発見が
専門教育での学びの
深化と進展へ

- 主体的に取り組む姿勢
- 課題を見つける力
- 大学での学びを課題解決に応用できる力 (思考力)
- 課題解決に向けての最も適切な方法を選択できる力 (判断力)
- 地域の思いを聞き、自分の想いを伝える力 (表現力)
- すぐ行動できる力
- チームで取り組む力
- 地域での経験や学びを活かし、新しい知を創り出す力

\\ 身につく力 //

